

石巻市心の復興事業 交付決定団体一覧

単位:円

番号	申請団体	交付決定額	事業概要
	事業名		
1	特定非営利活動法人 ヒューマンフェローシップ つながることへのきっかけ作り～Beeファーム★Newステッププロジェクト～	700,000	震災、コロナ禍を経て、孤立・孤独等による心のケアの重要性が大きくなったいま、被災者を含めた地域住民同士がつながるイベントの開催などによって、被災者・子ども・若者・高齢者が世代を超えて支えあい、協力して地域の活性化を図り、また過疎高齢化するなかでコミュニティ機能維持のために、横のつながりを強化し、思いのある人をそれぞれつなげることで、今迄行ってきた事業を今後も継続・安定させ、自立した地域コミュニティの構築を目的とします。また、当団体の強みを活かして、被災者を含む不登校・引きこもり等で悩んでいる若者・親御さん、支援者がつながり一歩踏み出すきっかけの場としても活用していきます。
2	一般社団法人石巻じちれん 一人にならない。みんなで囲むまちの食卓、のぞみ野・あゆみ野 地域食堂	700,000	孤立防止と多世代交流の促進の場づくりでは、地域住民が担い手となって、料理づくりを行い、食を通じた地域の交流の場を形成する。場への参加を独居高齢者や、地域の子どもなどにも声掛けを行い、孤立防止と交流を同時に行う。 住民交流と自活促進では、食を通じた交流の場で得た住民ニーズから、交流の促進や、日常生活において生きがいづくりにつながるようなWSや行動範囲が広がるような移動サロンを企画し開催する。
3	東北大学インクストーンズ 復興住宅におけるコミュニティ形成	270,000	石巻市内の復興住宅において工作やレクリエーションなどを行うサロン活動を行う。この取り組みは、住民同士のコミュニケーションを促進し、つながりが希薄である復興住宅のコミュニティ形成に貢献することを目的としている。 また、町内会イベントの運営の補助や住宅の手伝いなどをの生活支援を行う。この取り組みは、住民との密接な信頼関係を築くと同時に住民のメンタルケアを行うこと、あたたかく居心地の良い街づくりに貢献することを目的としている。
4	特定非営利活動法人 放課後子どもクラブBremen 地域・保護者と子供をつなぐ 石巻地区こども将棋大会と将棋練習会	700,000	石巻市で、①「石巻地区こども将棋大会」に向けた「こども将棋練習会」の実施と、②「石巻地区こども将棋大会」(正月)の開催。石巻地域の子どもたちの将棋を通じた交流を助け、さらに世代を超えた交流の、ひいては地域のコミュニティ活性化のきっかけとなるようにする。これを被災者が運営の主体となって実行する。
5	石巻劇場芸術協会 映画・演劇の力で生み出す文化的なコミュニティ創出と心の復興促進事業	800,000	演劇と映画の力でコミュニティ形成を行い、心の復興と地域の活性化を目指すため、多様な市民と協働し企画を立てて参加する事業。市民有志の参加によるワークショップなどを通して、作り手と鑑賞者の枠を越え、積極的に市民が参加できる形で検討を行う。本事業では、市内の復興住宅住民や被災地域住民らとともに、心を開きコミュニケーションを取るための「演劇的手法を用いた心と体のワークショップ」と、復興公営の集会所を活用して映画を鑑賞する「復興住宅映画上映会」、また映画で繋がるコミュニティ作りのための「映画に関するワークショップ」を開催。さまざまな場所で市民参加で映画鑑賞の場を作っていくことで、これまでコロナ禍においてはなかなか得られなかったコミュニケーション体験や文化芸術の表現体験の提供、新たなコミュニティの創出も目指す。
6	一般社団法人おしかの学校 地域の気概と交流を育むプロジェクト	700,000	今年度は前年度に引き続き「学習会を通して、自己の意志力を高めること」と「良い価値観を共有できる世代間交流の場」を地域に提供する。「学習会」を通して中高校生は自らの視野を広げていき、地元出身の大学生等には活動事業の奥行きを知る・学ぶ機会とする。また、地域住民との対話をする機会を設け新しいコミュニティのきっかけ作りをする。
7	特定非営利活動法人 にじいろクレヨン 地域の拠り所ににじいろクレヨンプロジェクト	700,000	孤独な子育てや、復興住宅住民、シニア世帯の孤立防止を目的とし、アートや農業体験を通して、多世代が日常的に交流できる居場所を創出し、地域の大人が子どもの成長を見守り育む役割を持つことにより、子どもが安心安全を感じ地域への愛着を循環させて、将来にわたり持続的に地域全体の発展につながる事業に取り組む。
8	がんばろう！石巻の会 ど根性ひまわり笑顔プロジェクト	700,000	5月から9月期間のど根性ひまわり畑の水かけ、除草、種の収穫、採取、ワークショップとして開催。門脇地域の方々や、石巻全域の被災された方々とともに、作業を通じて心の復興を図ります。 全国各地、また、ど根性ひまわりの、栽培によって元気をもらった方々とひまわりの笑顔の写真を集めた写真展を複数箇所開催し、被災された方々が笑顔で集う場を作ります。そして来年に種を広めます。

石巻市心の復興事業 交付決定団体一覧

単位:円

番号	申請団体	交付決定額	事業概要
	事業名		
9	特定非営利活動法人こころの森 石巻南浜復興祈念公園の青空の下、地域住民のこころの復興事業	700,000	石巻南浜復興祈念公園の青空の下、石巻市内の被災者(災害公営住宅に住む人々、子育てファミリー、高齢者)等を対象に、定期的にこころのケアのお茶会を開催する。コミュニティガーデンカフェ事業として、地域住民にランチ、ドリンクを提供し、ガーデンを眺めながら花緑に癒されるひとときを過ごしてもらう。本事業を通して地域住民との交流を図り、こころの復興を実現することが目的。
10	特定非営利活動法人やっぺす いっしょに学んでいっしょに食べて「地域に恋する♡地域食堂プロジェクト」	700,000	地域住民生涯学習や地域の担い手の活躍の場づくりを通じて、より住民が地域への理解を深め、主体的に地域活動に参画しやすく、「地域の人が地域を支える」土壌づくりを促進させることを目的に、市民の学びのための資源(出前講座やまなび舎)を活用した、講座やワークショップ及び食事をとにもする機会(地域食堂)を併せて提供し、多世代交流やコミュニティの場、いきがいつくり、地域でボランティアをしたい人たちの活躍の場づくりを行う。
11	一般社団法人りとりと こみゅばんマイスターの育成と心のセルフケア	800,000	今年の1月1日に起きた能登半島地震でPTSDを訴える被災住民の相談が増加した一方で、昨年度終了した受講生からは、自分たちができることで他者に対して貢献したいという声が聴かれた。 心のケアにつながるパンづくりやそれぞれの強みを生かし、対話を通じ互いの思いを共有しながら、引き続き被災住民の幸福度をあげられる人材の育成と昨年度育成したマイスターとのネットワークの構築を目指す。
12	一般社団法人 コミュニティスペースうみねこ 楽しい地域づくり	900,000	石巻市井内東部地区を中心に、震災後、移住してきた方、震災前からお住まいの方の交流の場づくりを目的とします。 内容として、ワークショップやイベントなどを開催し交流の場を作ります。また、バスを利用してお出かけ、ふらっと来て楽しめる、見て笑える猿回しの公演なども取り入れて行きます。
13	東北駆け込み寺石巻ハウス 「たった一人のあなたに寄り添う」心の復興事業	328,000	私たちは、震災後から石巻市開成地区、渡波地区の仮設住宅や松並、八幡町などで被災者支援を行ってきました。その後、被災者は災害復興住宅などに移りましたが、以前より孤立化、分断、高齢化が顕著になりました。そこで、更なる被災者支援事業展開のために令和3年に任意団体「東北駆け込み寺石巻ハウス」を立ち上げました。被災された方を、だれ一人取り残さないために「たった一人のあなたに寄り添う」をモットーに、寄り添い対話による心の復興事業を行っていく事を目的とします。
14	一般社団法人長面浦海人 大川地区「記憶の街」地域再生プロジェクト	700,000	住民ワークショップにより作成した4集落の模型(500分の1)を展示し「ふるさとの記憶」を語り合う。 朗読会やミニコンサートなど模型を囲むイベントを開催し、復興公営住宅居住者の孤立防止を図る。 被災現地での模型展示やイベントを通して世代間交流を促進し、災害や地域の記憶風化防止に努める。
15	一般社団法人雄勝花物語 「雄勝薬草園」を拠点とした住民交流継続事業	700,000	本事業は石巻市雄勝町において「花と緑の力で」を合言葉にした被災者の交流の場づくりの継続事業である。令和4年度から新たに造成を開始した「雄勝薬草園」を拠点に以下の2点を目的に事業を行い、成果を上げている。令和6年度は以下の目的達成を目指し、被災者交流の場づくりと被災高齢者の生きがいつくりを継続して行う。 ①被災した雄勝町の住民が主体的に「雄勝薬草園」を管理運営することを通じて交流を維持し、孤立化を防ぐ。 ②薬草の育て方や活用を学ぶことを通じて、心身の健康増進を図る。
16	波板地区会 地域資源(海・山・石)を活かしたコミュニティ形成事業	700,000	石巻市雄勝町の東端に位置した小さな漁村集落である波板地区では、これまで「限界集落の未来をつくる」を合言葉に、集落を訪れる若い世代を巻き込みながら、防潮堤の石貼りワークショップなど、ものづくりやイベントを通して、新しいコミュニティづくりを行ってきた。本事業では、砂浜のある美しい波板海岸や、裏山で採れる雄勝石(玄昌石)など、豊富な地域資源を活用し、周辺の地域住民や地区内、外の関係者・支援者との更なる交流促進を目指す。これまでの各々の活動をつなぎ、より持続的なコミュニティ形成を目的とし、波板地区らしい「高齢者をつくる豊かな暮らし」を実現する。

交付決定17団体総額

10,798,000